

分野	第3回・第4回審議会での主な意見	対応
生涯学習・文化・スポーツ	【基本計画素案-施策4-2文化-取り組みの内容-文化・芸術を核とした拠点の整備検討】 ○提案 (元)「前田青邨」⇒(案)「前田青邨画伯」 ・当市ゆかりの著名な芸術家について、何の芸術家かわかるようにした方が良い。	・基本計画素案(P33)の「前田青邨」を「前田青邨画伯」に修正します。
防災・防犯	南海・東南海を震源とする大地震がいつ起こってもおかしくない中、重点施策に「防災」を入れてもよいのではないかな。	・行政としては「防災」を含め、すべての分野（政策）に取り組む必要があります。その中で、次期総合計画の前期5年間で重点的に取り組むことを絞り込み、重点施策とします。 ・現状と将来都市像をふまえ、市の魅力向上と各種人口の増加につなげることを主眼として抽出しました。
商工観光・基盤整備	【基本構想素案-政策7-観光】 ○提案 (元)「自然、歴史、文化、食などの地域の魅力に加え、リニア中央新幹線を新たな魅力として活用することで、持続可能な観光産業の発展に取り組みます。」 (案)「自然、歴史、文化、食などの地域の魅力を活かし、リニアの開業効果を周辺地域や県内へ波及できるように、観光関連産業を活性化させ、持続可能な観光地づくりに取り組みます。」 ・リニアの開業予定は、早くても10年先であり、計画期間において活用できるかも不透明である。市民、事業者、行政を含め、市全体で取り組まなければならない事は、リニアが開通した時に、市外から訪れてもらえるまちづくりを進めることと考えている。 リニアが開業すれば自然発生的に地域が活性化するとは限らないことから、交流人口を増やす状況を自ら作り出す必要がある。リニアは、人を呼び込む資源にも成りうるかもしれないが、基本は、人を運ぶ手段。その様な観点で見れば、基本構想の記述は、修正してはどうか。	・基本構想素案(p30)について、提案のとおり修正します。

分野	第3回・第4回審議会での主な意見	対応
その他（将来都市像）	・将来都市像（案）である「ほどよいまち なかつがわ」には共感した。 ・「ほどよいまち なかつがわ」は、都市でもないがど田舎でもない、生きることにちょうど良いまちである客観的な中津川の良さを象徴している。 ・他の案である笑顔、ワクワクや希望の言葉には客観性がないため、どこの町でも使える言葉のように感じる。 ・3案の中から選ぶとしたらB案「ほどよいまち なかつがわ」が良い。 - A案、C案にある「笑顔」、「希望」は多くの場で使われている感がある。ただし、B案は「ほどよい」の表記の仕方に工夫が必要と考える。 ・「ほどよいまち なかつがわ」は悪いイメージを想像することが可能であり、良いとは感じない。誰もが良い印象を持てることが重要と考える。 ・まちづくりの方向性の中心に「笑顔」と「ワクワク」があり、市長公約に基づく「ワクワク」を使えばいいと思う。「ほどよい」では、政策につながるイメージが湧かない。 ・「ほどよいまち なかつがわ」は、わかりにくい。説明を受ければ意図を理解できるが、都市像の文言だけで中津川市が目指すまちづくりのイメージ、展望が伝わらない。誰が見ても分かりやすいものにすべき。 ・イメージ図の円の中心に「笑顔」「ワクワク」とあるが、将来都市像につながる言葉がないことに違和感がある。 ・将来都市像「ほどよいまち なかつがわ」とコンセプトブック「WONDERFUL WOODS」との関連では、個々にはそれぞれ良いが、全体として統一感がなく、「この計画はどのような計画であるか」をイメージする重要な部分であるので検討する必要があると感じる。 ・「WONDERFUL WOODS」の方が、中津川の風土に合っており、政策全てがつながる。 ・『WONDERFUL WOODS』が将来都市像でよい。『ほどよいまち』は、説明を聞けばわかるが、アイキャッチ的にも印象的にも弱く、ともすればこの自治体にも言ってしまう。まちの空気や未来に希望を持つためには、もっとエッジの効いたものが良い。 ・将来都市像はビジョンなので、市民の多くがイメージを共有できるものであるべきである。『WONDERFUL WOODS』はインパクトもあり、中津川を表しているものでもあり、イメージも共有しやすい。 ・ほどよいことが中津川に「残る理由」あるいは「Uターンの理由」にはなりえず、「ほどよい」では不十分である。 ・中津川の将来のために、インパクトのある将来像を策定していただきたい。 ・将来都市像の市民投票にかけた3案は、投票に至るまでの経緯などが説明されていない。	・審議会でのご意見を踏まえ、将来都市像を「WONDERFUL WOODs」とし、副題として「ほどよいまち なかつがわ」とさせていただきます。 ・「ほどよいまち なかつがわ」につきまして、ロゴイメージの作成や表示の仕方などによって、込められた意図を表現させていただきます。 ○将来都市像（案）の作成経緯 ・第2回審議会において、「できるだけキャッチーに」「中津川市民が愛着を持てるものに」「市民の意見を取り入れるのも面白い」といったご意見をいただきました。 ・ご意見を踏まえて、市役所内で募集を行い、60件以上の中から3案に絞り込んで市民投票を実施した結果、最多得票が「ほどよいまち」となりました。その結果により、第3回・第4回審議会でお示したものです。

分野	第3回・第4回審議会での主な意見	対応
その他	・基本計画の中の一部の重点項目だけが「WONDERFUL WOODs」として別冊として出るのは何故か。他にも、もっと現実的に解決しなくてはならない課題は多くあり、その課題の中でも特に重要なものが重点施策として出てこないといけないのではないか。	・ご指摘のとおり中津川市において解決しなければならない課題は数多くあります。その中でも重要な課題が人口減少であると考えており、人口減少への対策が将来的にさまざまな課題の解決につながると考えております。 ・その中で、前期基本計画においては特に市の魅力の向上に取り組むことが必要であると考えております。
	・「WONDERFUL WOODs」のコンセプト自体は面白いと思うが、現時点でこのコンセプトから重点施策へ結びつけるのは難しいのではないか。 35施策の中から中津川市の喫緊に対応しなければならない重点施策を決定し、その中からコンセプトに結びつけるプロセスにした方が良い。	
	・超長期の展望を持つことは、まちづくりを進めるうえで必要な事ではあるが、単純に考えると「WONDERFUL WOODs」そのものが、将来都市像、基本構想的な位置づけに見える。計画の体系が、複雑で分かりにくい。	・審議会でのご意見を踏まえ、将来都市像を「WONDERFUL WOODs」とさせていただき、まちづくりの展望と基本構想、基本計画までのつながりを分かりやすくさせていただきます。
	・「WONDERFUL WOODs」は市民のコンセンサスが必要ではないか。市民の意見、提案を聞いて充実させるとよい。	・今後、総合計画についてはパブリックコメントなどを経て市民の意見、提案を聞いて内容を充実させてまいります。 ・コンセプトブックについては、さまざまな場面で示し、議論を深める道具として活用したいと考えております。必要に応じて市民の意見や提案によって今後このコンセプトブックを充実させていきたいと考えております。
	・「WONDERFUL WOODs」について、フェスの「WILD WOOD」と何かの関わりはあるか。	・「WOOD」の単語が重なったのは偶然であり、フェスの「WILD WOOD」とは直接関係のあるものではありません。
	・基本構想第7章 土地利用構想の内容が良かった。田舎は切り捨てられないかと心配していたが、しっかり活かしてもらえそうだと感じた。	・中津川市の各地区の持つ特色や強みを生かし、相乗効果により中津川市全域が魅力的なものとなるように取り組んでまいります。
	・事業を実行するには各部門を超えてチームでの行動が必要である。部門を束ねてチームでの実行をお願いしたい。	・基本計画素案(p71)において、部門を越え、分野を横断した取り組みにより計画を推進することに加え、市内部以外にもさまざまな団体と連携して取り組むことについて記載します。

分野	第3回・第4回審議会への主な意見	対応
その他	・施策9の中で「中津川らしさ」と書かれているが「中津川らしさ」とは何か」、不明確であいまいな表現にも感じる。	・歴史、自然などに象徴される、中津川市が過去から大切にしてきたさまざまな文化や特産品、景観などの数多くの要素によってこの地域を形作るものを「中津川らしさ」と表現しました。 ・将来のリニア駅が設置されるまちの姿として、大都市圏などを真似したようなまちを目指すのではなく、今ある中津川市の魅力を生かしたまちづくりの方向性をお示ししたものです。
	・重点施策における観光分野の「持続可能」について、「観光産業の発展」には「自然、歴史、文化、食などの地域の魅力」の保存・承継が前提となる。観光分野を重点施策にする場合、後世に残す地域の魅力をしっかり守ることも併せて必要となる。	・ご指摘のとおり、現在中津川市にある資源、魅力を守り、磨き上げることが観光資源として確立し、交流人口を増加させる前提となります。重点施策の目指すところに、既存資源を守り、磨き上げることについて記載します。
	・審議会の役割について、審議会とは国や地方公共団体において、特定の事項を調査・審議するために設置される合議制の機関であり、行政機関の意思決定を支援し、専門的な知識や多様な意見を反映させる役割を担うとある。特定事項を審議する役割も書かれており、議事においては、提案内容の承認を求めるだけでなく、その可否を問う必要があるのではないか。	・ご指摘のとおり、審議会の委員の皆様には可否も含めて忌憚なくご意見をいただきたいと考えております。 ・市の提案に対してご指摘をいただき、その意見を基に市でしっかりと検討を行うことで、よりよい計画を策定できると考えております。